

届けよう！ コロナ禍の大学生生活アンケート

集計結果 速報！

2021年8月3日
全国大学生生活協同組合連合会
広報調査部・学生委員会

アンケートについて

【調査方法】Web調査（大学生協ホームページや生協利用者へ拡散をよびかけて回答を募集）

【調査対象】全国の大学生、大学院生

【調査期間】2021年7月5日(月)～7月19日(月)

【回収数】7,832回答

【アンケート結果についての注意点】

- ・匿名性による学生以外の回答や複数回答、不適当な回答などの可能性があります。
- ・回答数の多い大学や学年があるなど、アンケート結果の代表性は明らかにできません。

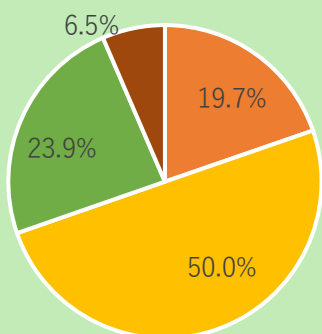


大学生生活は充実している？

- 充実している
- まあ充実している
- あまり充実していない
- 充実していない

1年生

充実していると答えた人の合計は学年別では最も多い69.7%でした。一方で未だに大学生の実感が湧かないという声もありました。



充実している

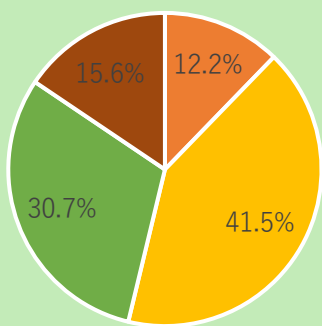
- ✓ 授業や課題が大学生らしいと感じ、大学生になったという実感がある。
- ✓ 学びたいことを勉強できており、新しい人間関係も築くことができている。
- ✓ 部活動や課外活動が、制限がありながらもできている。

充実していない

- ✓ 登校回数が計10回もなく、サークル活動も制限されているため大学生生活を実感できていない。
- ✓ オンライン授業ばかりでなんか不安。特にオンデマンド授業は先生も同級生の顔も知らない…。
- ✓ 高校時代までと比較すると、楽しいと感じる時間が少ない。

2年生

充実していると答えた人は合計で53.7%でした。昨年と比べると充実しているという声が多くみられましたが、現在の大学生生活に対する評価への戸惑いが一番見られる学年です。



充実している

- ✓ 対面授業になって、やっと大学生らしい日々を送れるようになった。
- ✓ できないと思っていたことがオンラインでできている(授業、サークル、委員会活動など)。
- ✓ 1年前に比べ友達も増え、楽しく学べている。

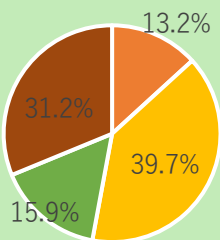
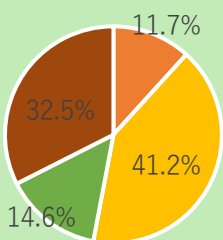
充実していない

- ✓ 大学には行けず、膨大な課題を何とか提出するだけの精神的に辛い日々。
- ✓ 思い描いていたキャンパスライフを入学してから一度も経験したことがない。
- ✓ 対面授業は少なく、学費を払っているにもかかわらず使用制限のある施設が多い。

3年生

4年生

1・2年生に比べると**充実していないと感じる人が多い傾向**です。コロナ前のような**交流や経験が不足**していると感じているようです。



充実している

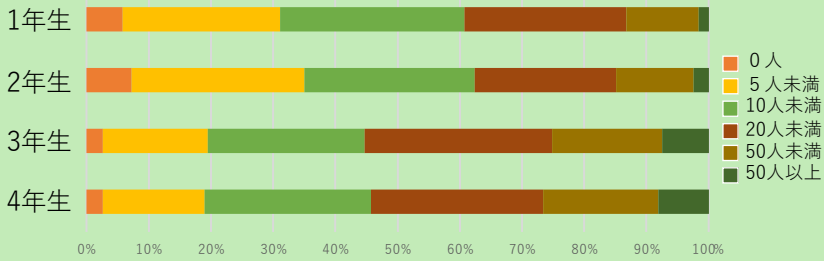
- ✓ オンラインでも充実した授業を受けることができている。
- ✓ 研究室で日々研究活動を行えているから。
- ✓ 就職先がきまり、友達と過ごす時間が増えた。

充実していない

- ✓ 登校機会も無く、サークル活動も出来ないため閉塞感がある。
- ✓ 友人と休み時間や放課後を過ごす時間がなくなった。
- ✓ 正直何のために大学にはいったのか分からなくなった。



大学でできた友達の数

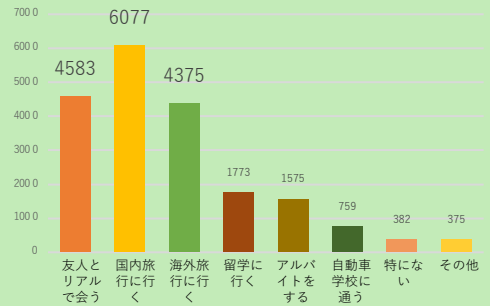


※1年生には「大学で友人は何人できましたか?」、2年生以上には「いま大学の友人は何人いますか?」と質問。

1年生で「0人」と回答した人は**5.8%**で、**9割以上の1年生が友達を作ることができている**ようです。コロナ禍1年目で入学した現2年生で「0人」と回答した人は**7.3%**でした。2020年7月に実施したアンケートでは27.7%という結果が出ていましたが、この一年間で友達ができたとみられます。しかし1・2年生は3・4年生に比べて友達が少ない傾向があるようです。



コロナが収束したら やってみたいこと



現在制限されていることをコロナ後には楽しみたいという願いがあるようです。「友人とリアルで会う」と「国内旅行に行く」「海外旅行に行く」の両方を選択した人も多くいました。



大学生活で困っていること

ハイブリッド授業が大変

- ✓ 中途半端に対面授業があるので本来ならオンデマンド授業を受ける時間が登下校で潰れてしまう。
- ✓ 大学に通う回数が予測しにくく、通学定期の購入に困る。
- ✓ 対面とオンラインが急に変わるため予定が立てづらく、バイトが出来ず収入が減った。

大学らしさを感じたい

- ✓ 大学入学のタイミングでコロナ禍へ陥ったので「大学がどんなものか」がわからない。
- ✓ いわゆる講義を対面で受けることなく卒業する気がして悲しい。
- ✓ 今じゃなくてもできる大学生活になってしまっている。大学生だからこそできる経験がしたい。

就活にも影響が…

- ✓ いつまでこの状況が続くのか分からないため本当に将来が不安。
- ✓ 就活の時、「大学生活で力を入れたことは?」と聞かれても上手く答えられるような経験談ができない。
- ✓ 本来の就活のやり方はおろか、オンラインでの就活のやり方が分からず聞ける人もいない。



大学・社会・国に対して伝えたいこと

大学生の現状に目を向けて!

- ✓ 大学生活には制限ばかりかけられて去年からずっと時が止まっているのに、社会は色々動き始めているのが納得できない。
- ✓ 社会に出る一歩手前にいる私達が、今、一番社会から離されている環境で生きています。大学生の存在を忘れないで下さい。
- ✓ 大学生の置かれている状況があまりにも社会に認知されていないように思います。大学1,2年生は孤立感を抱いている学生が殆どだと思います。
- ✓ 私達は「国民」の枠組みに入っているのか心配になるほど、我々大学生への支援が無い。

「若者」は悪者? 頑張っているのに…

- ✓ これからの社会を作るのは若者だと言いながらも若者を責め立てる風潮では、今後の社会に対して不安しかありません。
- ✓ NEWSで若者が悪いみたいに言うのをやめてほしい。若者って言っても、社会人の若い人たちははずなのに、視聴者には大学生くらいの子のように聞こえる。
- ✓ コロナを収束させるためにアルバイトがなくなってなんとか奨学金だけをやりくりして生活している人がいるのにも関わらず、飲み会してる人たち見ると腹が立ちます。



このほかにも、大学関係者や大学生向けの支援への感謝の言葉も寄せられました。コロナ禍で日々の勉学はもちろん、将来に備えて資格取得や語学学習をしたり、時間をやりくりして趣味やアルバイトに打ち込んだりと、自分にできることを考え前向きに生活している大学生も多くいることがアンケートからわかりました。

つながる元気、ときめきキャンパス。

